



倫理的消費(エシカル消費)の普及

倫理的消費(エシカル消費)の概念の普及や多様な主体によるムーブメント作りのため、全国的な普及・展開を図ることが必要。

倫理的消費(エシカル消費):地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動を指す。例として、「エコ」「地産地消」「食品ロス」「フェアトレード商品」や「被災地産品」の購入などが挙げられる。

徳島県内での情報収集など倫理的消費の普及における課題等の把握を始めとして、倫理的消費の普及・啓発に資する取組を行う

【取組事例】

プロジェクトの主な取組内容

黄色背景は、2018年度に徳島県内で実施

主に徳島県で倫理的消費に関する取組等の視察やヒアリングによる事例の収集を実施

倫理的消費の普及に向けたイベントの実施や協力

倫理的消費の認知度等について徳島県内で意識調査を3年間実施(2017~2019年度)

徳島県が立ち上げた地域版プラットフォームとの連携

これまでの主な成果(徳島県内)

- ・徳島県徳島市(2018/3/18)にてエシカル・ラボを開催
- ・「平成29年度徳島県における『倫理的消費(エシカル消費)』に関する消費者意識調査」の結果を公表(2018/6/26)

・徳島県民のエシカル消費の認知度:約26%

・エシカルな商品・サービスの提供により企業イメージが向上すると考える割合は約56%

・消費者庁ウェブサイトを取組事例を公表(2018/6/27) 随時追加予定



全国展開

- ・「エシカル・ラボ」を開催
- 2017年度:鳥取県 / 2018年度:秋田県
- ・取組事例の収集・公表